



東京外国語大学
多言語・多文化教育研究センター

平成 25 (2013) 年度
年次報告

ANNUAL REPORT OF
CENTER FOR MULTILINGUAL MULTICULTURAL
EDUCATION AND RESEARCH

多言語・多文化教育研究センター 平成 25 (2013) 年度年次報告 目次

【Ⅰ. 教育】

多言語・多文化総合プログラム	1
-1 2013 年度授業内容	

【Ⅱ. 研究】

協働実践型研究プログラム	4
-1 研究会構成	
-2 研究活動	

多文化社会実践研究・全国フォーラム	7
-3 多文化社会実践研究・全国フォーラム (第 7 回)	

研究成果の発信 (刊行物)	9
-4 研究誌『多言語多文化—実践と研究』	
-5 『シリーズ 多言語・多文化協働実践研究』 17	

【Ⅲ. 社会連携】

多言語・多文化社会専門人材養成講座	11
-1 講座概要	
-2 日程・時間割	
-3 運営	
-4 修了者	

コミュニティ通訳活動	15
-5 活動実績	
-6 登録者数	
-7 研修会の実施	

言語ボランティア活動	16
-8 リレー専門家相談会参加実績	
-9 登録者数	

後援	18
-10 後援事業	
ボランティア活動スペース	19
-11 学生ボランティアに関する企画・実施	
-12 学生ボランティア団体への指導・助言	
-13 学外団体との連絡・調整	
-14 その他関連する業務	
-15 メール配信サービス登録学生数	
外国につながる子どものための教材作成	25
-16 開発教材	
-17 各教材ダウンロード数	
-18 教材見本の作成・配布	
【IV. 広報活動】	30
-1 メールマガジン発行状況	
-2 新聞・雑誌等掲載関連記事一覧	
【V. センターの運営】	31
-1 多言語・多文化教育研究センター運営体制	
-2 センター会議開催状況	
-3 運営メンバー	
【資料】 東京外国語大学ボランティア活動スペース ボランティア活動紹介にあたってのガイドライン	33
【参考】 2013（平成25）年度 多言語・多文化教育研究センター事業計画	35

【 I . 教育】

多言語・多文化総合プログラム

I-1. 2013 年度授業内容

<1 学期>

■多言語・多文化社会論入門 I

金曜日 2 限 アゴラグローバル プロメテウスホール

日付	テーマ	講師
4月12日	ガイダンス	長谷部美佳 (本学)
4月19日	日本に住む外国人住民の概要(1)	長谷部美佳 (本学)
4月26日	日本に住む外国人住民の概要(2)	長谷部美佳 (本学)
5月10日	多文化化する日本の歴史	長谷部美佳 (本学)
5月17日	カテゴリーから見た外国人住民	長谷部美佳 (本学)
5月24日	オールドカマーとは	長谷部美佳 (本学)
5月31日	人道的配慮による入国 (難民)	長谷部美佳 (本学)
6月7日	日本人の家族 (国際結婚)	長谷部美佳 (本学)
6月14日	日本とのつながり (日系人)	長谷部美佳 (本学)
6月21日	制度のはざまに落ちる人たち (オーバーステイ)	長谷部美佳 (本学)
6月28日	コミュニティ通訳とは	内藤稔 (本学)
7月5日	外国人を支える人たち	長谷部美佳 (本学)
7月12日	日本で働く外国人	長谷部美佳 (本学)
7月19日	ゲスト講師	石田光 (夢道 s 代表取締役)
7月26日	まとめ	長谷部美佳 (本学)

履修者実績 : 257 人

■多言語・多文化社会論 (歴史と現在)

木曜日 2 限 227 教室

日付	テーマ	講師
4月11日	ガイダンス	長谷部美佳 (本学)
4月18日	日本における多言語・多文化社会の歴史と現在(1)	米谷匡史 (本学)
4月25日	アメリカにおける多言語・多文化社会の歴史と現在	長谷部美佳 (本学)
5月9日	中国における多言語・多文化社会の歴史と現在	橋本雄一 (本学)
5月16日	台湾における多言語・多文化社会の歴史と現在	長谷部美佳 (本学)
5月23日	マレーシアにおける多言語・多文化社会の歴史と現在	左右田直規 (本学)
5月30日	インドネシアにおける多言語・多文化社会の歴史と現在	青山 亨 (本学)
6月6日	メキシコにおける多言語・多文化社会の歴史と現在	受田宏之 (本学)
6月13日	東欧における多言語・多文化社会の歴史と現在	篠原 琢 (本学)
6月20日	ドイツにおける多言語・多文化社会の歴史と現在	相馬保夫 (本学)
6月27日	オーストラリアにおける多言語・多文化社会の歴史と現在	山内百合子 (本学)
7月4日	アフリカにおける多言語・多文化社会の歴史と現在	坂井真紀子 (本学)
7月11日	難民の人の話を聞く	長谷部美佳 (本学)
7月18日	日本における多言語・多文化社会の歴史と現在(2)	前田達朗 (本学)
7月25日	まとめ	長谷部美佳 (本学)

履修者実績 : 261 人

■多言語・多文化社会論(実践)

*多言語・多文化総合プログラムで学んだことを社会の現場で活かし、ボランティア活動を行います(「社会論入門Ⅰ」と「社会論入門Ⅱ」の両方の単位をすでに取得していることが履修条件です)。

責任者:長谷部美佳 金曜日5限 114教室 履修者:10人

<2学期>

■多言語・多文化社会論入門Ⅱ

金曜日2限 102教室

日付	テーマ	講師・ゲスト
10月4日	ガイダンス	長谷部美佳(本学)
10月11日	外国人住む権利とは	長谷部美佳(本学)
10月18日	非正規滞在者が住む権利とは	長谷部美佳(本学)
10月25日	市民権と永住権	長谷部美佳(本学)
11月1日	非正規滞在と在留特別許可	長谷部美佳(本学)
11月8日	非正規滞在者とその社会的背景	長谷部美佳(本学)
11月15日	外国人の住まいとは	長谷部美佳(本学)
11月29日	移民の子どもの教育	長谷部美佳(本学)
12月6日	移民の日本語習得	長谷部美佳(本学)
12月13日	外国人の医療問題	長谷部美佳(本学)
12月20日	国際結婚の諸問題	長谷部美佳(本学)
1月10日	外国人の集住地域とは	長谷部美佳(本学)
1月17日	外国人はどこに住んでいる?	長谷部美佳(本学)
1月24日	レビュー	長谷部美佳(本学)
1月31日	まとめ	長谷部美佳(本学)

履修者実績:118人

■多言語・多文化社会論(理論と視角)

月曜日2限 114教室

日付	テーマ	講師
10月7日	ガイダンス	長谷部美佳(本学)
10月16日	世界の移民の現況	長谷部美佳(本学)
10月21日	移民の類型と国際移動の理論(新古典派、世界システム)	長谷部美佳(本学)
10月28日	ロールプレイ(人はどうやって移動する?)	長谷部美佳(本学)
11月7日	国際移動の理論(移民ネットワーク論、世帯戦略論)	長谷部美佳(本学)
11月11日	移民の女性化はなぜ起こるか	長谷部美佳(本学)
11月18日	再生産の国際分業と女性	長谷部美佳(本学)
12月2日	移動を促進する移民政策	長谷部美佳(本学)
12月9日	同化とは何か	長谷部美佳(本学)
12月16日	同化、編入、統合とは何か	長谷部美佳(本学)
12月24日	多文化主義とは何か	長谷部美佳(本学)
1月20日	移民の定住過程	長谷部美佳(本学)
1月27日	移民の社会統合とは何か	長谷部美佳(本学)
2月3日	まとめ	長谷部美佳(本学)

履修者実績:75人

■多言語・多文化社会実践概論 (コミュニティ通訳概論)

月曜日3限 113教室

日付	テーマ	講師
10月7日	ガイダンス	内藤稔 (本学)
10月16日	通訳の歴史	内藤稔 (本学)
10月21日	通訳の理論と求められる技法	内藤稔 (本学)
10月28日	相談通訳の仕組み	内藤稔 (本学)
11月7日	遠隔通訳の取り組み	内藤稔 (本学)
11月11日	医療通訳における課題と現状	内藤稔 (本学)
11月18日	外国人の医療と現状	松野勝民 (MIC かながわ理事長)
12月2日	司法通訳と法廷通訳	内藤稔 (本学)
12月9日	学校現場における通訳の担い手	内藤稔 (本学)
12月16日	外国につながる子どもたちと教育	李原翔 (都立富士森高等学校)
12月24日	行政・自治体における通訳の現状	内藤稔 (本学)
1月20日	ユーザーの立場についての考察	内藤稔 (本学)
1月27日	通訳演習発表①	内藤稔 (本学)
2月3日	通訳演習発表②	内藤稔 (本学)
2月10日	総括ーコミュニティ通訳の役割と専門性を考える	内藤稔 (本学)

履修者実績 : 39人

■コミュニティ通訳の実践 (英語)

金曜日2限 204教室

日付	テーマ	講師
10月4日	ガイダンス	内藤稔 (本学)
10月11日	通訳の歴史	内藤稔 (本学)
10月18日	相談通訳の仕組み	内藤稔 (本学)
10月26日	遠隔通訳の取り組み	内藤稔 (本学)
11月1日	通訳訓練法	内藤稔 (本学)
11月8日	司法通訳の世界	内藤稔 (本学)
11月15日	司法通訳演習	内藤稔 (本学)
11月29日	行政現場における通訳	内藤稔 (本学)
12月6日	行政通訳演習	内藤稔 (本学)
12月13日	医療通訳における課題	内藤稔 (本学)
12月20日	医療通訳演習	内藤稔 (本学)
1月10日	外国につながる子どもたち	内藤稔 (本学)
1月24日	教育通訳演習	内藤稔 (本学)
1月31日	まとめ	内藤稔 (本学)
2月7日	課題の発表と提出	内藤稔 (本学)

履修者実績 : 3人

【Ⅱ. 研究】

協働実践型研究プログラム

Ⅱ-1. 研究会構成

多文化社会コーディネーター研究会 ※科学研究費助成事業(2013-15年度)として実施

研究 テーマ	多文化社会における専門職の知と専門性評価に関する研究	
研究会 メンバー	チーフ (研究代表)	杉澤経子(本センタープロジェクトコーディネーター)
	連携 研究者	山西優二(早稲田大学文学学術院教授) 三輪建二(お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授)
	研究 協力者	菊池哲佳(《公財》仙台国際交流協会企画事業課企画係主任) 北村祐人(名古屋大学とよた日本語学習支援システムシステムコーディネーター) 小山紳一郎(《公財》ラボ国際交流センター常勤理事) 高柳香代(《特活》宮崎文化本舗コーディネーター) 奈良雅美(関西学院大学非常勤講師) 新居みどり(《特活》国際活動市民中心コーディネーター) 松岡真理恵(《公財》浜松国際交流協会多文化共生コーディネーター) 宮澤千澄(横浜市教育委員会主任指導主事)

コミュニティ通訳研究会

研究 テーマ	コミュニティ通訳の役割の新たな定義づけおよび通訳者の質の向上に関する知見の共有		
研究会 メンバー	チーフ	内藤 稔(本センター特任講師)	
	推進会議 メンバー	杉澤経子(本センタープロジェクトコーディネーター)	
	コミュニ ティ通 訳コ ース 修了 者	1期	浅野良子 下島泰子 宮城京子(英語) 西崎典子(スペイン語) 佐藤エバートン文雄(ポルトガル語) 山浦育子 三木紅虹(中国語) 鷺頭小弓(ベトナム語)
		2期	大西秀雄 刀 美佳 高口真由美(英語) 岩田久美 名倉貴之(スペイン語)
3期		相田純子 泉川知子 ヒョン・ジョンスン 横幕美矢子(英語) 野口京香(スペイン語) 北岡幹子(ロシア語) 境 潤子(中国語)	

遠隔通訳研究会 ※関東弁護士会連合会（以下関弁連・注1参照）との協働実践研究

研究 テーマ	法律相談における遠隔通訳と多言語通訳システムの開発に関する実践的研究	
研究会 メンバー	チーフ	杉澤経子（本センタープロジェクトコーディネーター）
	推進会議 メンバー	青山 亨（本センター長） 内藤 稔（本センター特任講師）
	通訳 コミュニ スニ 修了 者	相田純子 高口真由美（英語） 岩田久美 名倉貴之（スペイン語） 山浦育子 三木紅虹（中国語） 佐藤エバートン文雄（ポルトガル語） 原 美雪（インドネシア語） 鷲頭小弓（ベトナム語） 渡辺一弘（ベンガル語） 北岡幹子（ロシア語） 青木隆浩（モンゴル語）
	弁護士	指宿昭一（関弁連外国人の人権救済委員会委員長／第二東京弁護士会） 高貝 亮（関弁連外国人の人権救済委員会副委員長／静岡県弁護士会） 関 聡介（東京弁護士会） 高橋ひろみ（第一東京弁護士会） 水内麻起子（埼玉弁護士会） 中村 亮（千葉県弁護士会） 尾家康介（横浜弁護士会） 小嶋一慶（群馬弁護士会） 中澤浩平（栃木県弁護士会） 伊藤しのぶ（茨城県弁護士会） 清田路子（山梨県弁護士会） 出井博文（長野県弁護士会） 篠田陽一郎（新潟県弁護士会）

注1：東京高等裁判所管内の13の弁護士会で構成。

Ⅱ-2. 研究活動

研究会開催日程

	多文化社会 コーディネーター研究会		コミュニティ通訳 研究会	遠隔通訳 研究会
	基礎研究会	事例研究会		
4月	22日/準備会			26日/準備会
5月	13日/第1回 28日/第2回		11日/第1回	
6月				
7月	1日/第3回	8日/第1回		
8月	10日/第4回			30日/第1回
9月				
10月	21日/第5回	21日/第2回	12日/第2回	25日/第2回
11月				
12月				
1月	20日/第6回	20日/第3回		
2月				24日/第3回
3月			15日/第3回	

成果の発表

多文化社会実践研究・全国フォーラム（第7回 / 2013年11月30日実施）における発表

多文化社会 コーディネーター 研究会	特定課題 セッション	多文化社会における専門人材に関する研究 ー養成の取り組みを専門性の観点から分析する ～パネルディスカッションⅡの議論の理解のために
コミュニティ通訳 研究会	パネルディスカッ ションⅠ	司法分野における遠隔通訳の実験的取り組みとコミュ ニティ通訳の役割ー13の弁護士会との協働研究から
遠隔通訳研究会	パネルディスカッ ションⅠ	司法分野における遠隔通訳の実験的取り組みとコミュ ニティ通訳の役割ー13の弁護士会との協働研究から
	ランチタイム セッション	遠隔デモンストレーション・意見交換

基礎研究活動

多言語・多文化総合プログラム（P1参照）の「多言語・多文化社会論（歴史と現在）」における授業内容をまとめた本の出版に向けて、東京外国語大学出版会と検討・準備を行った。

多文化社会実践研究・全国フォーラム

Ⅱ-3. 多文化社会実践研究・全国フォーラム(第7回)

テーマ：多文化社会人材の専門職化 ―人材養成の取り組みから可能性を探る―

実施日：2013年11月30日(土)

会場：東京外国語大学 研究講義棟

参加者数：200人

セッション名	テーマ	参加人数
パネルディスカッション	<p>司法分野における遠隔通訳の実験的取り組みとコミュニティ通訳の役割 —13の弁護士会との協働研究から</p> <p><パネリスト> 名倉貴之(コミュニティ通訳コース修了者、スペイン語通訳者) 高貝 亮(弁護士、関東弁護士会連合会 外国人の人権救済委員会副委員長) 指宿昭一(弁護士、関東弁護士会連合会 外国人の人権救済委員会委員長) 内藤 稔(本センター特任講師) コーディネーター 杉澤経子(本センタープロジェクトコーディネーター)</p>	100
ランチタイムセッション	<p>遠隔通訳デモンストレーション・意見交換</p> <p><デモンストレーター> 清田路子 中村 亮(弁護士) 山浦育子 三木紅虹(コミュニティ通訳コース修了者) <アドバイザー> 青山 亨(本センター長) <進行> 内藤 稔(本センター特任講師、コミュニティ通訳研究会チーフ)</p>	85
研究発表セッション 【個人発表】	<p>あいち医療通訳システムの養成プログラム 服部しのぶ(藤田保健衛生大学医療科学部准教授) 立花みどり(名古屋YWCA講師)</p>	153 *延べ
	<p>タイ-日国際児の自己実現意識発表育成—5年間の実践研究を通じて見えた変化と課題 矢嶋ルツ・小林悦子(「帰国した子どもの教育センター校」大阪市立豊崎中学校 日本語・適応指導担当教諭)</p>	
	<p>地域日本語教育実践者に必要な多文化社会コーディネーションの視点と技—親子日本語サークルの課題解決に向けて— 福村真紀子(早稲田大学日本語教育研究センターインストラクター／親子日本語サークル「にほんご あいあい」代表)</p>	
	<p>私立学校における多言語多文化共生教育への挑戦 和田利一(明德義塾高等学校)</p>	
	<p>「難民日本語教育」と「地域日本語教育」をつなぐ—多文化社会専門職人材養成の観点から 伴野崇生(関西大学国際教育センター)</p>	

セッション名	テーマ	参加人数
<p>ヨ ン 【 研 究 発 表 セ ッ シ ョ ン 】 【 個 人 発 表 】</p>	<p>難民2世に必要な支援とその限界 田中良幸（東京都北児童相談所）</p> <hr/> <p>持続可能な活動に向けての地域日本語教室の課題（活動7年を振り返る） 辻本久夫（関西学院大学非常勤講師／こくさいひろば芦屋代表）</p>	<p>153 *延べ</p>
<p>【 グ ル ー プ 発 表 】 研 究 発 表 セ ッ シ ョ ン</p>	<p>グループ発表 外国人の進学問題を考える—高校・大学進学における個人的要因と制度的要因の影響</p> <p><発表者> 樋口直人（徳島大学准教授） 鍛冶 致（大阪成蹊大学准教授） 高畑 幸（静岡県立大学准教授） 田巻松雄（宇都宮大学教授） 宮島 喬（お茶の水女子大学名誉教授） 稲葉奈々子（茨城大学准教授） 高谷 幸（岡山大学准教授）</p>	<p>78</p>
<p>特 定 課 題 セ ッ シ ョ ン</p>	<p>多文化社会における専門人材に関する研究 —養成の取り組みを専門性の観点から分析する～パネルディスカッションⅡの議論の理解のために</p> <p><発表者> 奈良雅美（関西学院大学） 宮澤千澄（横浜市教育委員会）多文化教育コーディネーター 新居みどり（NPO 法人国際活動市民中心） 北村祐人（名古屋大学とよた日本語学習支援システム） 高柳香代（《特活》宮崎文化本舗） 菊池哲佳（仙台国際交流協会）</p> <p><ディスカッサント> 小山紳一郎（《公財》ラボ国際交流センター常勤理事） 山西優二（本学特任研究員、早稲田大学文学学術院教授）</p> <p><コーディネーター> 杉澤経子（本センタープロジェクトコーディネーター／研究会チーフ）</p>	<p>74</p>
<p>パ ネ ル デ ィ ス カ ッ シ ョ ン</p>	<p>「多文化」をめぐる専門人材の養成と専門職化への可能性 —制度化に向けての論点整理</p> <p><パネリスト> 古屋幸一（財団法人自治体国際化協会 多文化共生部多文化共生課長） 結城 恵（群馬大学 大学教育・学生支援機構教育基盤センター教授） 石河久美子（日本福祉大学 社会福祉学部教授） 阿部 裕（多文化間精神医学会理事、明治学院大学心理学部教授）</p> <p><コーディネーター> 山西優二（本学特任研究員、早稲田大学文学学術院教授）</p>	<p>84</p>
<p>懇 親 会</p>		<p>48</p>

研究成果の発信（刊行物）

Ⅱ-4. 研究誌『多言語多文化—実践と研究』vol.5

投稿論文数	受理論文数	査読者数 (延べ)	査読(1回目) 合格論文数	再投稿論文数	掲載論文数	刊行日
13	13	10	6	4	5 (実践型3、 研究2)	2013年 11月30日
内容	<p>【実践型研究論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間支援組織としてのAIAの役割と事業について —国際交流協会職員及び行政職員としての二つの視点から— (佐々木留美) ・ 授業の成立が困難な学校で多文化共生を語る—ゲストティーチャーとしての関わりから— (孫 美幸) ・ 私立高等学校における多言語多文化共生教育への挑戦 —明德義塾高等学校における事例を通してコーディネーターの役割を探る (和田利一) <p>【研究論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語指導が必要な外国人生徒を対象とした「取り出し指導」をめぐる同僚性と専門性 —一定時制高校の非常勤講師に焦点を当てて— (高松美紀) ・ 在日朝鮮人のエスニック・アイデンティティの多様性に関する調査研究 —日本学校在学生と朝鮮学校在学生の比較を中心に— (曹 慶鎬) 					

Ⅱ-5. 『シリーズ 多言語・多文化協働実践研究』17

タイトル	刊行日
<p>多文化共生政策の実施者に求められる役割 —多文化社会コーディネーターの必要性とあり方 【多文化社会コーディネーター研究会】12年度報告</p>	2013年 11月30日
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門人材養成は大学の社会的責任 (青山 亨) ・ 序 (杉澤経子) <p>【第1部 総論】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体国際化政策と政策の実施者に求められる役割 (杉澤経子) ・ 多文化社会にみる学びづくりのコーディネーター —「公」「共」「私」にみる学びの文化の多様性に着眼して (山西優二) <p><特別寄稿></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体におけるコーディネーターの必要性とその役割—逗子市の事例から (平井竜一) <p>【第2部 実践的考察】</p> <p>第1章 防災政策と多文化共生政策をつなぐ —国際交流協会職員の省察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本大震災に見る多文化社会コーディネーターの役割 (菊池哲佳) ・ 自治会支援と防災対策からの共生の仕組みづくり (松岡真理恵) ・ 県域での災害時における情報提供体制づくり (高柳香代)

第2章 多文化共生政策の体制整備—自治体職員としての可能性

- ・ 地方自治体における多文化共生施策推進のための体制づくり
— 広域行政における多文化社会コーディネーターの必要性 (亀井鈴子)
- ・ 自治体組織における多文化社会コーディネーターの可能性 (齊藤由実子)

【Ⅲ. 社会連携】

多言語・多文化社会専門人材養成講座

Ⅲ-1. 講座概要

場所	東京外国語大学 府中キャンパス
日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通必修科目 2013年8月23日(金)～26日(月) ・ 専門別科目 【多文化社会コーディネーターコース】 秋期 2013年9月21日(土)～23日(月・祝) 個別実践研究期間 2013年10月～2014年1月 冬期 2014年2月22日(土)・23日(日) 【コミュニティ通訳コース】 2013年9月27日(金)～29日(日)
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 【多文化社会コーディネーターコース】 行政、国際交流協会、公益団体、企業、地域日本語教室等、多言語・多文化に関する業務や活動を行っている組織の中堅スタッフ 【コミュニティ通訳コース】 外国語の語学力があり、自治体、学校、国際交流協会、NPOなどの外国語相談や通訳など、現場の実戦経験(ボランティアも可)がある者

応募状況

(単位：人)

	多文化社会 コーディネーターコース	コミュニティ通訳 コース	2コース計
定員	10	20	30
応募者数	22	21	43
合格者数	11	14	25
修了者数	11	13	24

モニタリング実施状況

(単位：人)

多文化社会コーディネーターコース	11
------------------	----

Ⅲ-2. 日程・時間割

共通必修科目 2013年8月23日(金)～26日(月)

8月	9:00-10:40	11:00-12:40	13:40-15:20	15:40-17:30
24日(金)	(10:00-12:00) ・開講あいさつ 青山 亨 ・オリエンテーション ・多言語・多文化社会における 専門人材とは 杉澤経子	(13:00-14:40) 言語と文化1 多文化社会における文化とは 栗田博之	(15:00-) ワークショップ1 応募時の小論文を ベースに自己紹介 振り返り	
25日(土)	言語と文化2 多文化社会における 言語とは 藤井 毅	言語と文化3 日本語教育と 年少者教育 小林幸江	多言語・多文化社会実践論1 在留資格制度とその実務 近江愛子	ワークショップ2 実践を語り聴く 三輪建二
26日(日)	言語と文化4 多文化社会における 宗教とは 青山 亨	多言語・多文化社会論1 異文化ストレスと 日本の医療システム 村内重夫	多言語・多文化社会実践論2 福祉・ソーシャルワーク 妻鹿ふみ子	ワークショップ3 レポートの書き方 長谷部美佳 振り返り
27日(月)	多言語・多文化社会論2 国・自治体における外国人 住民との共生政策 植村 哲	多言語・多文化社会論3 国際理解教育と 地域日本語教育 杉澤経子	多言語・多文化社会実践論3 ボランティア・協働・ ネットワーク 後藤麻理子	全体振り返りと まとめ 杉澤経子

専門別科目

【多文化社会コーディネーターコース】

秋期 2013年9月21日(土)～23日(月・祝)

9月	10:00-	10:10-12:10, 13:10-15:50	16:00-16:20	-17:30
21日(土)	オリエンテーション	プレゼンテーション (レポート発表を中心に)	講評 青山 亨 長谷部美佳	振り返り
22日(日)	9:00-12:30	13:30-17:00		-17:30
	コーディネーター論 基礎的实践・中核的实践 杉澤経子	ワークショップ 協働の事業づくり～シミュレーション 杉澤経子		振り返り
23日(月・祝)	9:00-11:40	12:40-15:30	15:45-16:30	16:15-17:30
	アクションプランづくり 杉澤経子	アクションプラン発表 個別実践研究に向けて	論文の書き方 長谷部美佳	全体振り返り 杉澤経子

冬期 2014年2月22日(土)・23日(日)

2月	10:00-	16:40	17:00-		
22日(土)	プレゼンテーション (小論文の発表を中心に)		振り返り		
23日(日)	9:00-12:10	13:10-13:40	13:40-14:00	14:20-15:50	16:00-
	プレゼンテーション (小論文の発表を中心に)	プレゼンの 振り返り	講評 長谷部美佳 杉澤経子	コーディネーター論 まとめ 杉澤経子	全体振り返り 杉澤経子 修了証授与 佐野 洋

【コミュニティ通訳コース】

2013年9月27日(金)～29日(日)

9月	9:00-10:30	10:50-12:20	13:10-14:40	15:00-16:00	-17:30
27日(金)	10:00- オリエンテ- ーション	通訳概論 鶴田知佳子	課題・ レポート講評 鶴田知佳子 内藤 稔	コミュニティ通訳 概論 内藤 稔	専門家相談 基礎知識 杉澤経子
28日(土)	基礎知識① 行政・教育分野 山野上麻衣	基礎知識② 司法分野 指宿昭一	コミュニティ通訳 活動の実際 岩田久美・高口真由美	コミュニティ翻訳、 通訳のマナーと通訳技法の基礎 内藤 稔	
29日(日)	基礎知識③ 医療分野 押味貴之	コミュニティ通訳演習 (ロールプレイング・ピアレビュー など) 内藤 稔		15:00～ 振り返り 杉澤経子	16:00～到達度チェック 17:00～講評・まとめ 修了証授与 佐野 洋

Ⅲ-3. 運営

専門人材養成会議開催状況

日程	時間	場所
7月3日	14:20-15:50	本センター会議室
10月9日	12:40-14:10	
2014年4月1日	14:20-15:50	

選考会議開催状況

7月18日	9:00-10:00	本センター会議室
-------	------------	----------

Ⅲ-4. 修了者

多文化社会コーディネーターコース (第6期)

※所属は修了時のもの

氏名	所属
伊藤 結花	(公財) 埼玉県国際交流協会
榎本 聡	(財) 自治体国際化協会多文化共生課
黒田 類	(公財) ひろしま国際センター研修部
斉藤 美穂	(公財) 北九州国際交流協会事業推進課
杉山 美紀	(公財) 愛知県国際交流協会交流共生課
伴野 崇生	慶應義塾大学総合政策学部
橋本 靖子	東京外国語大学ボランティア活動スペース
福村 真紀子	早稲田大学日本語教育研究センター／親子日本語サークル「にほんご あいあい」代表
古舘 由美	東北大学大学院経済学研究科国際交流支援室
村田 敦史	(公財) 武蔵野市国際交流協会
安田 乙世	NPO 法人「おおさかこども多文化センター」

コミュニティ通訳コース(第4期)

※11人がコミュニティ通訳として登録

【言語別受講者数】

英語	5	朝鮮語	3	中国語	2
スペイン語	2	ベンガル語	1	ポルトガル語	1

【属性】

国際交流協会	7	教育	3	その他	4
--------	---	----	---	-----	---

コミュニティ通訳活動

Ⅲ-5. 活動実績 (2014年3月31日現在)

通訳	依頼件数	活動形態		参加人数	言語数	言語内訳
	106	法律相談会	6			
		個別相談	100	109 (延べ)	14	英語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、 モンゴル語、中国語、朝鮮語、インドネシア語、 ベトナム語、ベンガル語、*タイ語、*フィリピン語、 *ペルシア語、*トルコ語
翻訳	依頼件数	依頼元		参加人数	言語数	言語内訳
	23	法律事務所	21			
		弁護士会	2	27 (延べ)	7	英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、朝鮮語、 ベトナム語、ベンガル語
計	129件			136人	14	

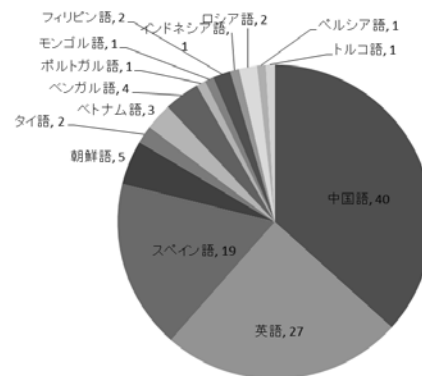
*本学関係者が参加

言語別参加人数

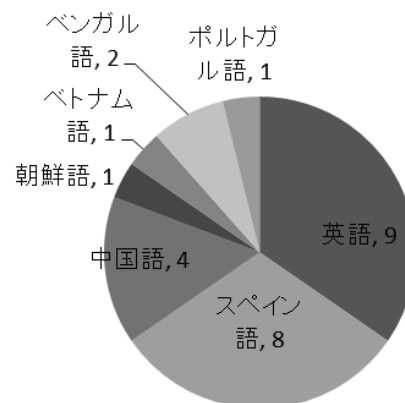
	通訳	翻訳
英語	27	10
スペイン語	19	8
ポルトガル語	1	1
ロシア語	2	—
中国語	40	4
朝鮮語	5	1
モンゴル語	1	—
インドネシア語	1	—
ベトナム語	3	1
ベンガル語	4	2
タイ語*	2	—
フィリピン語*	2	—
ペルシア語*	1	—
トルコ語*	1	—

*本学関係者が参加

【通訳】



【翻訳】



Ⅲ-6. 登録者数 (2014年3月31日現在)

登録者総数： 10言語 66人

言語別：

英語	21	中国語	11	ベトナム語	2
スペイン語	9	韓国・朝鮮語	4	ベンガル語	2
ポルトガル語	11	モンゴル語	3		
ロシア語	1	インドネシア語	2	合計	66人

Ⅲ-7. 研修会の実施

対象：コミュニティ通訳登録者、言語ボランティア登録者

実施日	場所	内容	参加人数
10月25日 (金)	東京都児童相談センター 7階中会議室	児童相談における頻出用語の内容説明および施設見学 講師：木全玲子氏（東京都児童相談センター保護第一課長）	24

言語ボランティア活動

Ⅲ-8. リレー専門家相談会 参加実績

相談会への参加回数：6回

参加人数：延べ26人

言語数：11言語（英語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、インドネシア語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、トルコ語）

	実施日	場所/主催	参加人数	言語
参加した相談会	9月9日(日)	東村山市立中央公民館 / 東村山地球市民クラブ	5	英語、ドイツ語、中国語、スペイン語、インドネシア語
	10月5日(土)	弁護士会館12階講堂 / 関東弁護士会連合会	9	英語、ドイツ語、スペイン語、中国語(台湾語)、トルコ語、ベトナム語、タイ語
	10月20日(日)	国分寺労政会館 / 国分寺市国際協会	1	タイ語
	10月26日(土)	品川区立総合区民会館(きゅりあん) / 公益財団法人品川区国際友好協会・NPO法人国際活動市民中心(CINGA)	8	英語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、中国語

実施日	場所/主催	参加人数	言語
2014年 2月16日(日)	新宿多文化共生プラザ会議室 / NPO 法人国際活動市民中心 (CINGA)	1	フィリピン語
3月2日(日)	調布市文化会館たづくり12階 / 調布市国際交流協会	2	中国語(台湾語)、スペイン語

Ⅲ-9. 登録者数 (2014年3月31日現在)

登録者総数： 24言語 160人

属性：

教員	11	OBOG	103
職員	2	元職員	4
大学院生	40	計	160人

言語別：

英語	50	朝鮮語	10	カンボジア語	1
ドイツ語	9	モンゴル語	2	ビルマ語	4
フランス語	8	インドネシア語	9	ヒンディー語	2
イタリア語	2	マレー語	3	ペルシア語	2
スペイン語	21	フィリピン語	5	トルコ語	7
ポルトガル語	12	タイ語	5	ルーマニア語	1
ロシア語	3	ラオス語	3	ネパール語	2
中国語	31	ベトナム語	5	ベンガル語	1
合 計				198 人	

※複数言語登録者あり

後援

Ⅲ-10. 後援事業

事業の名称	実施団体	開催日時	開催場所
MIA 夏期教員ワークショップ	(公財) 武蔵野市国際交流協会	2013年7月31日(水) -8月1日(木)	スイング 11F レインボーサロン
「多文化共生」の地域づくりワークショップ —地域日本語教室における「居場所感」調査と日本語事業の企画立案に向けて—	(特活) 国際活動市民中心	2013年8月7日(水)、 2014年2月28日(金)	早稲田大学外山キャンパス 33号棟 16階第10会議室

ボランティア活動スペース

ボランティア活動スペースは、2004年度に現代GPとして設置された「多文化コミュニティ教育支援室」が、現代GP終了にともなって2007年に本センターに統合され、さらに2012年度に活動内容の見直しとともに名称が変更されたものです。2014年度からは学生課に移行されることになり、本年度は移行準備期間として「実施チーム」を設置し、運営にあたりました。またガイドライン（P33資料）等を作成しました。

Ⅲ-11. 学生ボランティアに関する企画・実施

(1) 講座・研修の実施

ボランティア入門講座 (実施2回 参加人数47人)

実施日	内容(講師)	参加人数
4月1日	ボランティアきっかけづくり講座(VOLAS職員)	23
5月8日	「世界一大きな授業」外大版(学生有志)	24 (うち学生スタッフ8)

ランチタイム学習会 (実施12回 参加人数170人)

実施日	内容(講師)	参加人数
4月23日	第1回「TINさんとお茶を飲みながら話を聞く会」 (マウン・ティン・マウン・イン)	31
5月17日	第2回「Smile for Children! -児童労働について考える-」 (フランス語専攻1年生)	9
6月3日	第3回「子どもの心を支える」(本学教員・田島充士)	8
6月13日	第4回「日本で暮らす難民を知る」(本学教員・長谷部美佳)	21
7月3日	第5回「在日コリアンを知る」(本学教員・前田達朗)	9
7月4日	第6回「障害者という異文化」(ベトナム語専攻2年生)	18
7月19日	第7回「新しい『コミュニケーション』のカタチ」(日本語専攻3年生)	4
10月8日	第8回・留学報告会「日本で学んだこと ベトナムで感じたこと」 (ベトナム語専攻3年生)	30
10月21日	第9回・学生活動報告会「NHK『東北発☆未来塾』東北を応援するチカラ」 (カンボジア語専攻4年生)	3
12月5日	第10回「ミャンマーの難民問題について-ロヒンギャ難民に焦点をあてて-」 (本学教員・土佐桂子)	19
12月17日	第11回・学生活動報告会「インドNGOインターンとフェアトレード」 (ヒンディー語専攻3年生)	5
1月21日	第12回・留学報告会「留『学』ってなに？」 (スペイン語専攻3年生)	13

外部団体ボランティア募集説明会（実施3回 参加人数延べ46人）

実施日	内容（講師）	参加人数
4月18日	「国際会議 EROPA2013」ボランティア第2次募集説明会（総務省自治大学校）	32（応募者20）
4月18日	「青年のための国際理解フォーラム」説明会（武蔵野市国際交流協会）	10
6月14日	夏休みボランティア募集説明会（府中市社会福祉協議会）	4

(2) 学習支援 講座・研修の実施

ガイダンス

実施日	内容（講師）	参加人数
4月～ 2014年2月	外国につながる子どもへの学習支援ガイダンス（VOLAS 職員）	52

フォローアップ講座

実施日	内容（講師）	参加人数
5月16日	「外国につながる子どもの学習支援 私たちができること」 （日本語教師・落合智子）	13

学習支援座談会（実施7回 参加人数17人）

実施日	内容（主催）	参加人数
4月30日	学習支援座談会（学生コーディネーター）	2
5月28日	学習支援座談会（学生コーディネーター）	3
6月25日	学習支援座談会（学生コーディネーター）	3
7月12日	学習支援座談会（学生コーディネーター）	2
12月11日	学習支援座談会（VOLAS 職員）	6
2014年1月 29日	学習支援座談会（VOLAS 職員）	4
3月7日	学習支援座談会（VOLAS 職員）	7

Ⅲ-12. 学生ボランティア団体への指導・助言

(1) 学生ボランティア団体への支援

活動説明会・報告会実施への支援（実施7回）

実施日	内容	主催学生団体
4月17日	ボランティア活動説明会	わくらば（ALS患者支援）
4月26日	ボランティア活動説明会	ELAN（ミャンマー孤児院支援）
4月30日	ボランティア活動説明会	くらふと（国際理解教育）
5月9日	ボランティア活動説明会	みんなおキッチン（国内難民支援）
5月21日	ミャンマー孤児院訪問活動報告会	ELAN（ミャンマー孤児院支援）
7月8日	「世界を知る！外大生の身近な授業～もっと知りたい子どもと教育～」	学生コーディネーター
10月11日	学習支援説明会	学習支援団体合同

(2) 学生自主企画への支援（実施16回）

実施日	内容	主催者
4月3日	新入生歓迎行事（お花見）	学生コーディネーター・学生ボランティア団体代表者共催
4月10-18日	新入生歓迎行事（ランチセッション）	学生コーディネーター・学生ボランティア団体代表者共催
5月15日	新入生歓迎行事	学生コーディネーター
5月16日	X-Change～服と幸せのシェア～	ビルマ語2年生、朝鮮語3年生
5月23日、 24日	フェアトレード月間企画	ラテンアメリカの会・GIRASOL
5月28日 -7月7日	多文化理解型映画会「ぼらす座」（計5回）	学生コーディネーター 他
6月17-21日	日本で暮らす難民の味	みんなおキッチン
6月19-21日	難民月間企画「日本に暮らす難民展」	みんなおキッチン、くらふと
7月11日	日本に住む難民の方にお話を聴く会	みんなおキッチン、長谷部研究室
2014年 1月20-24日	日本で暮らす難民の味	みんなおキッチン
1月27日	ボランティア情報交換会	外大東北復興支援隊
2月20日	卒論TED	英語2年、ビルマ語2年 他

(3) 府中市との包括協定に基づく事業(外国につながる子どもへの学習支援)への支援

ミーティングでの助言 月1回程度 他随時実施

(4) 学生相談 実施95回(2013年6月～2014年3月)

Ⅲ-13. 学外団体との連絡・調整

(1) 外部依頼受け入れ基準の策定 (P.33資料参照)

(2) 依頼の選定: 依頼50件、受諾28件(2013年6月～2014年3月)

実施日	主催団体名	内容	場所・時間	参加人数
4月- 2014年3月	多磨町会/あさひ苑	多磨町会サロン	多磨町永福寺 毎月第2火曜日 14:00～16:00	延べ15
6月6日	豊川市立西部中学校	本学学生ボランティア活動見学	VOLAS 10:40～12:15	教職員2 学生5
8月8日	都立府中けやきの森学園 PTA	「夏の学校」ミニコンサート	都立府中けやきの森学園 13:00～14:00	9
10月14日 -20日	総務省自治大学校	総務省自治大学校主催 「国際会議EROPA2013」	総務省自治大学校他	60
10月28日、 11月2日	府中市市民活動支援課	府中市姉妹都市交流アテンド	ルミエール府中/府中の森芸術劇場	4
11月1日	本学教員・小林教授	国際交流パーティーワーキンググループ(学生募集窓口のみ)	本学・ホールダイニング 18:00～	14
11月21日	都立府中けやきの森学園	外語祭訪問	学内10:00～11:00 13:30～14:30	2
2014年 1月25日	府中市、NPO法人府中市民活動支援センター	市民協働推進シンポジウムPRパネル展示	ルミエール府中 (展示のみ)	6団体
2月1日	NPO法人きらめきライフ多摩	地域子どもひろば「つくって遊ぼう！」	府中市立南白糸台小学校 9:00～12:00	3
2月2日	府中ボランティアセンター	府中市児童・生徒のボランティア活動紹介展	府中フォーリス 13:00～	4
2月22日	障害者支援施設みずき	音楽交流会	障害者支援施設みずき 14:00～15:00	5

他17件は、掲示板での情報提供

(3) 府中市における学習支援活動

実施日	主催団体名	内容	場所・時間	参加人数
4月-9月	府中市市民活動支援課	春学期・府中国際交流サロン 児童学習支援	府中国際交流サロン 17:00～18:30	16

実施日	主催団体名	内容	場所・時間	参加人数
5月-9月	府中市教育委員会	春学期・府中市教育委員会 日本語適応指導教室	府中市教育センター 15:00~17:00	10
10月- 2014年3月	府中市市民活動支援課	秋学期・府中国際交流サロ ン児童学習支援	府中国際交流サロ ン 17:00~18:30	16
10月- 2014年3月	府中市教育委員会	秋学期・府中市教育委員会 日本語適応指導教室	府中市教育センター 15:00~17:00	3

連携協議会の開催（実施7回）

実施日	連携団体名	内容	場所・時間	参加人数
7月9日	府中市教育委員会	日本語適応指導教室 連携協議会	多言語・多文化教育研 究センター 14:50~15:50	教委5 教職員2 学生2
7月16日	府中市市民活動支援課	府中国際交流サロン児童 学習支援連携協議会	VOLAS 14:00~15:00	府中市3 教職員2 学生2
9月6日	府中市市民活動支援課	府中国際交流サロン児童 学習支援 事務打ち合わ せ	府中国際交流サロ ン 16:30~	府中市2 職員1
9月9日	府中市教育委員会	日本語適応指導教室 連携協議会	多言語・多文化教育研 究センター 14:00~15:00	教委4 教職員2
12月13日	府中市教育委員会	日本語適応指導教室 意 見交換会	VOLAS 10:30~11:30	教委2 教職員2
3月7日	府中市教育委員会 市民活動支援課	日本語適応指導教室・児童 学習支援連携事務打ち合 わせ	府中国際交流サロ ン 14:15~	教委2 府中市1 職員1
3月24日	府中市市民活動支援課	府中国際交流サロン児童 学習支援連携協議会	VOLAS 13:30~	府中市1 教職員2

Ⅲ-14. その他関連する業務

学生ボランティア活動に関する情報・経験の提供

- (1) HPでの情報提供 90件
- (2) メール配信 36回
- (3) 掲示板へのチラシ掲示 随時
- (4) 活動レポートのVOLASホームページへの掲載 20回

IV-15. メール配信サービス登録学生数

所属	学年	1		2			3	4
		言語文化	国際社会	外国語	言語文化	国際社会	外国語	外国語
学部	専攻語							
	英語	4	14	1	7	2	5	7
	ドイツ語	5	3			2	1	14
	フランス語	4			1	2	7	10
	イタリア語	3	2		1		1	1
	スペイン語	9	12		3	6	11	13
	ポルトガル語	2	1		2		9	16
	インドネシア語	2			6	2	3	5
	マレーシア語						3	
	フィリピン語		1		1	1	4	9
	タイ語	2	3		1	3	3	4
	ラオス語	2				1		3
	ベトナム語	3	2		1	2	6	5
	カンボジア語	4	3			1	4	5
	ビルマ語				2	1	3	
	ウルドゥー語		3			1	3	1
	ヒンディー語		2		1	1	3	6
	ベンガル語		1					
	アラビア語	2	3		1	1	2	2
	ペルシア語		2				1	7
	トルコ語				1	1	2	6
	ロシア語	3	2			6	2	8
	チェコ語		1			1		2
	ポーランド語				1		2	1
	中国語	3	4	2	2	8	13	13
	朝鮮語				1	2	3	6
モンゴル語	2	1		1	1	1	5	
日本語	5	1		2	2	9	8	
アフリカ地域※		2				5		
小計		55	63	3	35	52	100	157
大学院		33						
留学生		2						
研究生・特別聴講生		7						
その他 ※※		30						
合計		538						

※専攻語が判別できるもの・できないものを含めアフリカ地域所属の学生数

※※専攻語等のデータ不足で判別できない学生数

外国につながる子どもたちのための教材開発

Ⅲ-16. 開発教材

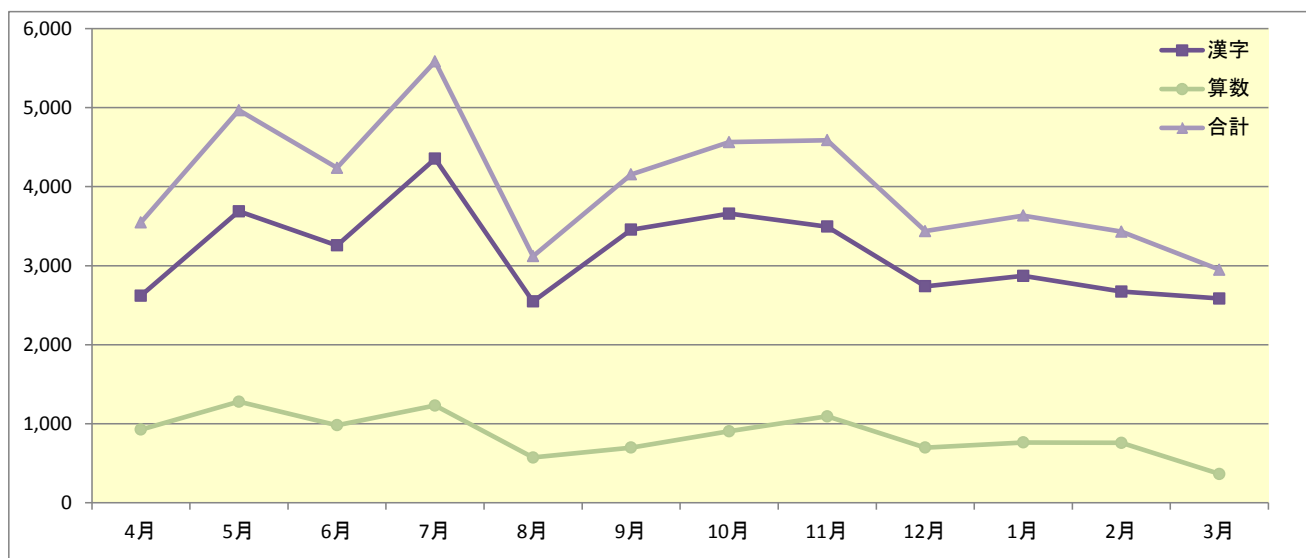
在日タイ語圏児童のための教材（プロジェクト・ノックントーン）

教材名	公開日
『คันจิเพื่อนรัก (カンチ・プアン・ラック) 80 kanjis』 1年生担当漢字	3月28日
『คันจิเพื่อนรัก (カンチ・プアン・ラック) 160 kanjis』 2年生担当漢字	7月31日
『คันจิเพื่อนรัก (カンチ・プアン・ラック) 200 kanjis』 3年生担当漢字	7月31日

Ⅲ-17. 各教材ダウンロード数（月別、2014年3月末現在）

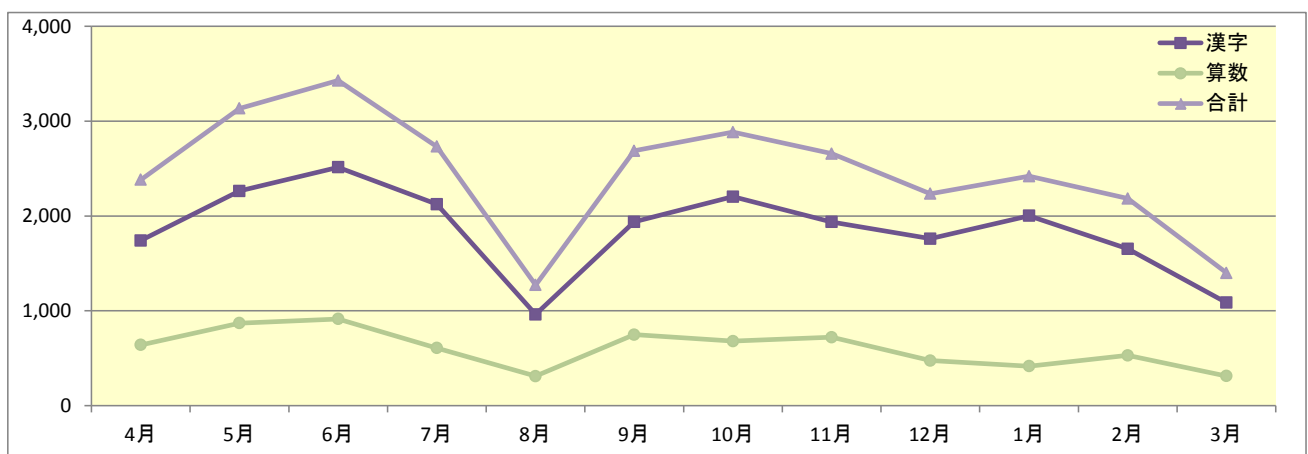
【在日ブラジル人児童のための教材】

	2013年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
漢字	2,621	3,688	3,257	4,354	2,548	3,456	3,659
算数	927	1,280	981	1,230	573	699	905
合計	3,548	4,968	4,238	5,584	3,121	4,155	4,564
	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
漢字	3,495	2,739	2,871	2,673	2,585	37,946	
算数	1,094	698	763	758	365	10,273	
合計	4,589	3,437	3,634	3,431	2,950	48,219	



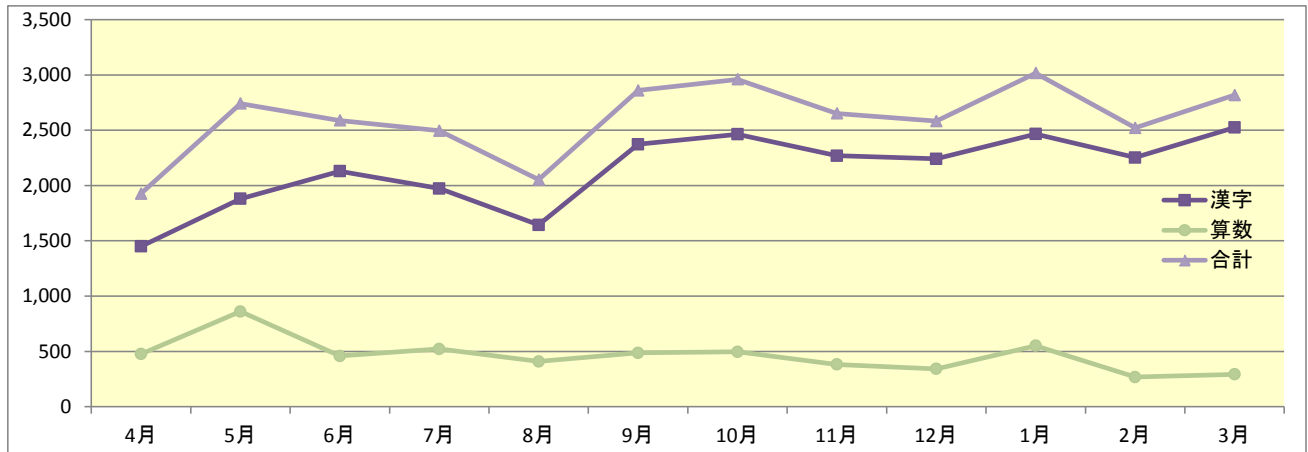
【在日フィリピン児童のための教材】

	2013年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
漢字	1,741	2,264	2,514	2,124	962	1,938	2,204
算数	641	870	914	608	311	749	680
合計	2,382	3,134	3,428	2,732	1,273	2,687	2,884
	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
漢字	1,937	1,760	2,003	1,654	1,086	22,187	
算数	721	475	417	530	313	7,229	
合計	2,658	2,235	2,420	2,184	1,399	29,416	



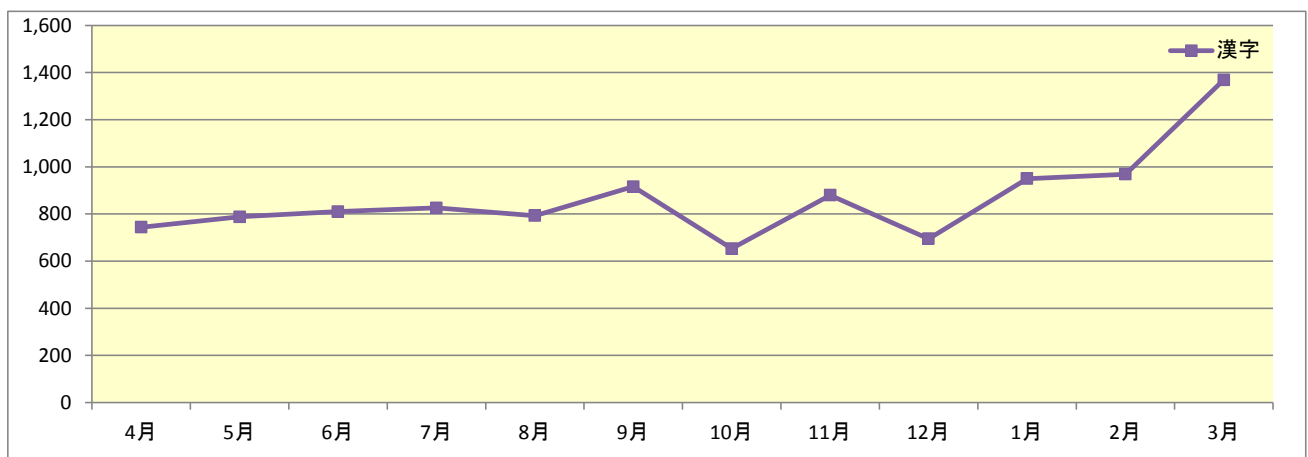
【南米スペイン語圏出身児童のための教材】

	2013年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
漢字	1,450	1,880	2,130	1,973	1,644	2,373	2,464
算数	476	861	458	522	409	487	496
合計	1,926	2,741	2,588	2,495	2,053	2,860	2,960
	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
漢字	2,270	2,241	2,466	2,253	2,525	25,669	
算数	382	342	551	268	293	5,545	
合計	2,652	2,583	3,017	2,521	2,818	31,214	



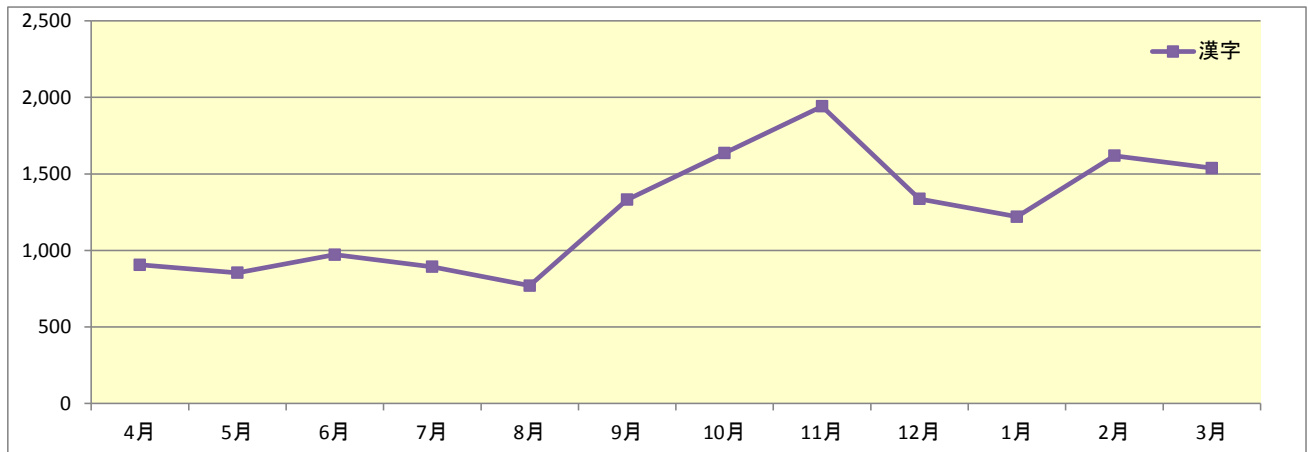
【ブラジル人向け自習用漢字教材】

	2013年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
漢字	744	788	810	826	793	916	653
	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
漢字	880	695	950	969	1,369	10,393	



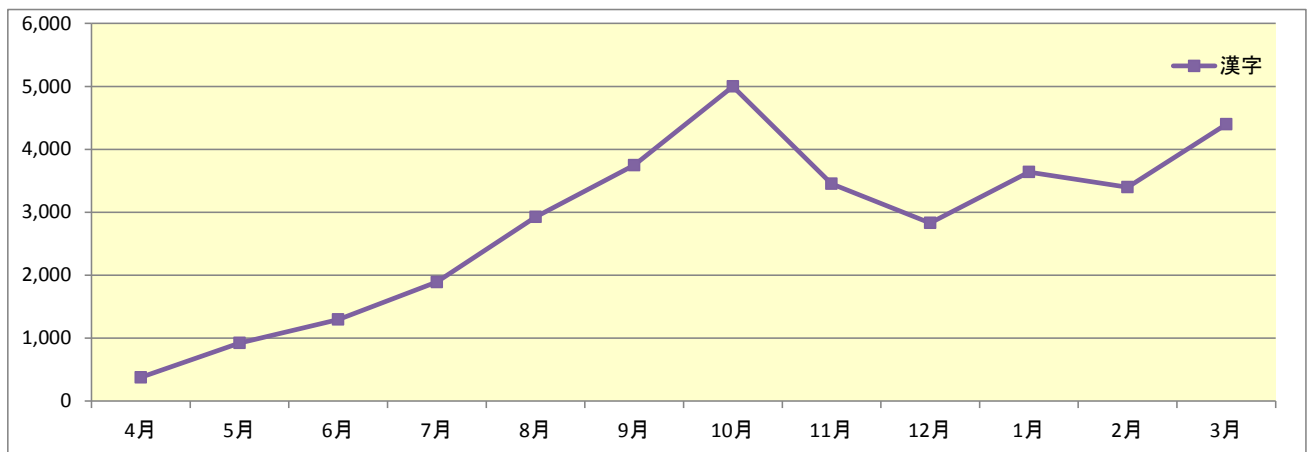
【ベトナム出身児童のための教材】

	2013年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
漢字	906	854	972	893	770	1,332	1,637
	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
漢字	1,942	1,337	1,220	1,619	1,538	15,020	



【在日タイ語圏児童のための教材】

	2013年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
漢字	377	922	1,296	1,891	2,925	3,749	5,000
	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
漢字	3,452	2,831	3,638	3,398	4,397	33,876	



ダウンロード数 推移

期間：2007年4月20日から2014年3月31日まで

		2007年度		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	合計
		07年4月20日～ 5月31日	07年6月1日～ 08年3月31日	08年4月1日～ 09年3月31日	09年4月1日～ 10年3月31日	10年4月1日～ 11年3月31日	11年4月1日～ 12年3月31日	12年4月1日～ 13年3月31日	13年4月1日～ 14年3月31日	
在日ブラジル人児童 のための教材	漢字	9,989	52,885	110,013	97,940	69,466	56,431	38,238	37,946	472,908
	算数		21,924	71,887	64,671	60,897	43,089	10,417	10,273	283,158
	小計	84,798	181,900	162,611	130,363	99,520	48,655	48,219	756,066	
在日フィリピン人児童 のための教材	漢字				1,344	30,715	31,897	22,729	22,187	108,872
	算数			12,795	21,654	29,415	26,301	8,008	7,229	105,402
	小計			12,795	22,998	60,130	58,198	30,737	29,416	214,274
南米スペイン語圏出身 児童のための教材	漢字				1,845	29,131	27,541	16,859	25,669	101,045
	算数					10,116	27,249	4,403	5,545	47,313
	小計				1,845	39,247	54,790	21,262	31,214	148,358
ベトナム出身児童の ための教材	漢字**						557	4,952	15,020	20,529
在日タイ語圏児童のた めの教材	漢字								33,876	33,876
ブラジル人向け 自習用漢字教材	漢字						8,724	7,425	10,393	26,542
合計		84,798	194,695	187,454	229,740	221,789	113,031	168,138	1,199,645	

*2007年4月、5月分は教材毎の区別がされていない。

**2011年12月公開のため、2011年12月からの集計となっている。

Ⅲ-18. 教材見本の作成・配布

発行	教材名	印刷部数	配付先
2013年11月	在日タイ語圏児童のための漢字教材 「1年生担当漢字（カンチブアンラック 80kanjis）」	300	・フォーラム参加者 ・NPO 団体、図書館、 一般希望者

【IV. 広報活動】

IV-1. メールマガジン発行状況

※登録者数：1,663件（2014年3月末現在）

No	発行日	No	発行日	No	発行日
33	2013年4月19日	38	9月18日	42	11月22日
34	5月20日	39	10月1日	43	12月12日
35	6月19日	40	10月23日	44	2014年1月31日
36	7月4日	特集号	11月8日	45	2月28日
37	8月7日	41	11月15日	46	3月27日

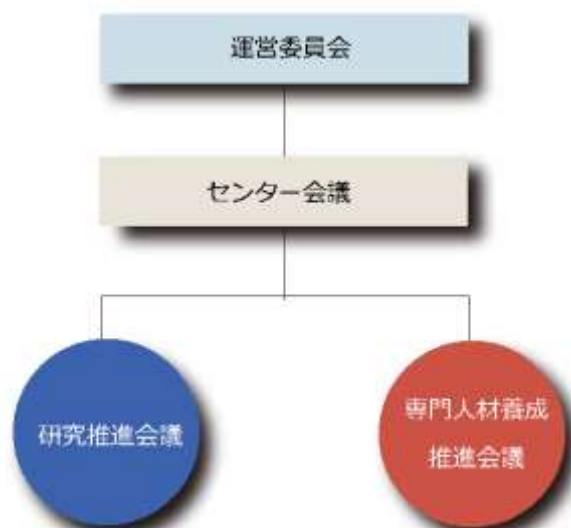
IV-2. 新聞・雑誌等掲載関連記事一覧

掲載日	媒体名	見出し
2013年5月1日	月刊社会教育 5月号	第6回多文化社会実践研究・全国フォーラム
6月1日	多摩交流センターだより No.114	学生ボランティア団体紹介～学生による多摩のまちづくり～
6月7日	宇都宮大学 HANDS プロジェクト だいじょうぶnet.	はじめての日本語指導テキスト
7月14日	NHK 静岡ニュース	災害時の対応学ぶ研修会
7月24日	富士ニュース	災害時通訳伝え
2014年2月22日	ボランティアコーディネーター白書 2014年度版	多文化共生におけるボランティアコーディネーション
3月10日	留学交流 vol.36	地域社会で留学生が活動することの意義ー日本の多文化共生社会との関連でー
3月15日	自治体国際化フォーラム 293号	多文化と人材養成

【V. センターの運営】

V-1. 多言語・多文化教育研究センター運営体制

多言語・多文化教育研究センター 組織図



V-2. センター会議 開催状況

	開催日		開催日
第1回	2013年4月24日	第6回	10月23日
第2回	5月29日	第7回	12月4日
第3回	6月27日	第8回	2014年1月17日
第4回	7月24日	第9回	3月14日
第5回	9月30日		

※会場はいずれもセンター会議室

V-3. 運営メンバー

● 運営委員会

宮崎 恒二	理事
青山 亨	センター長
岩崎 務	大学院総合国際学研究院長
川口 裕司	言語文化学部長
岩崎 稔	国際社会学部長
小林 幸江	学長特別補佐
武田 千香	副センター長
杉澤 経子	プロジェクトコーディネーター
富田 章	教務課長
水野 善文	言語文化学部副学部長
吉田 ゆり子	国際社会学部副学部長
土佐 桂子	大学院総合国際学研究院教授

● センター会議

青山 亨	センター長 (大学院総合国際学研究院教授)
武田 千香	副センター長 (大学院総合国際学研究院教授)
杉澤 経子	プロジェクトコーディネーター (センター研究員)
長谷部美佳	特任講師 (センター教員)
内藤 稔	特任講師 (センター教員)

● プログラム別推進会議

研究会議

青山 亨	センター長 (大学院総合国際学研究院教授)
武田 千香	副センター長 (大学院総合国際学研究院教授)
杉澤 経子	プロジェクトコーディネーター (センター研究員)
長谷部美佳	特任講師 (センター教員)
内藤 稔	特任講師 (センター教員)
伊東 祐郎	留学生日本語教育センター長教授
受田 宏之	大学院総合国際学研究院准教授
鶴田 知佳子	大学院総合国際学研究院教授
藤井 毅	大学院総合国際学研究院教授

専門人材養成会議

青山 亨	センター長 (大学院総合国際学研究院教授)
武田 千香	副センター長 (大学院総合国際学研究院教授)
杉澤 経子	プロジェクトコーディネーター (センター研究員)
長谷部美佳	特任講師 (センター教員)
内藤 稔	特任講師 (センター教員)
鶴田 知佳子	大学院総合国際学研究院教授
藤井 毅	大学院総合国際学研究院教授

【資料】 P22 III-13 (1) 外部依頼受け入れ基準の策定

(学生向け)

東京外国語大学ボランティア活動スペース
ボランティア活動紹介にあたってのガイドライン

東京外国語大学ボランティア活動スペース VOLAS では、学生のボランティア活動紹介にあたって、以下のように取り決めます。

1. 以下のような情報は、紹介しません。
 - 政治活動、宗教活動に関わる活動
 - 日本国または国際法上の法令に違反する活動
 - 公序良俗に反する活動、または犯罪行為を誘発するおそれのある活動
 - 第三者に損害または不利益を与えたり、第三者を誹謗中傷するような活動
 - 危険が伴う活動
 - 情報に関する責任体制が明確でない活動

2. ボランティア活動は、以下の点について確認をした上で紹介します。
 - ボランティア活動を依頼する団体の概要
 - 紹介するボランティア活動の概要
 - ボランティア活動中、各団体担当スタッフとともに活動を行うこと
 - 保険への加入
 - 事前もしくは当日活動開始前の説明会の開催
 - 支援対象となる人との直接のやりとりはしないこと
 - その他活動条件の確認

3. 情報提供にともなってなされた一切の行為とその結果については、参加者募集を希望した団体に責任があり、本学では責任を負いかねます。

ボランティア活動スペース VOLAS
〒183-8534 府中市朝日町 3-11-1
042-330-5428 volas@tufs.ac.jp

(団体向け)

ボランティア活動紹介団体のみなさまへ

ボランティア活動紹介については、ボランティア活動スペースで所定の審査の上、決定させていただきます。学生の自主的な思いで活動を選択することになりますので、募集された件について、参加者が必ず見つかるとは限りませんので、ご了承ください。

紹介にあたっては、メール配信、学内掲示板、相談業務を通じて、情報提供をいたします。

ガイドラインをご覧いただいた上で、活動名、実施日、担当者と連絡先と共にご連絡ください。原則としてメールでご連絡いただけますよう、お願いいたします。

ボランティア活動スペース VOLAS
〒183-8534 府中市朝日町 3-11-1
042-330-5428 volas@tufs.ac.jp

ボランティア活動学生募集依頼 確認票

ボランティア活動名	
実施日：	年 月 日
主催団体名	
担当者：	
連絡先：(電話)	(e-mail)
事前もしくは当日説明会の有無	
事前開催 (月 日)	・ 当日開催 ・ 無
ボランティア保険等への加入	有 ・ 無 (本人負担 円)
その他活動条件 (交通費・昼食等)	

確認事項

- 主催団体の概要提出 (HP の URL でも可)
- ボランティア活動概要提出 (チラシでも可)
- ボランティア活動中、団体担当スタッフとともに活動を行います
- 支援対象となる人との直接のやりとりはしません

2013(平成25)年度 多言語・多文化教育研究センター事業計画

2013.04.24

事業名	内 容	実施日
1 教育活動		
教養教育	本学の学生が教養として身に付けてほしい、「多文化共生社会」を実現するために必要な基礎的な知識を学ぶ科目群を提供する。「多言語・多文化総合プログラム」における「多言語・多文化社会論入門Ⅰ、Ⅱ」、「多言語多文化社会論：理論と視角」、「多言語多文化社会論：歴史と現在」、「多言語多文化社会論：実践」などである。またこれらの科目は、外国語学部の「総合科目」としても開講される。	通年
専門教育	外国語学部においては、「専修専門科目」「卒業論文・卒業研究演習」を開講し、言語文化学部においては、グローバルコミュニケーションコース内の授業として、「概論科目」である「多言語・多文化社会実践概論」としてコミュニティ通訳研究と多文化社会コーディネーション研究に関する授業を提供する。	通年
2 研究活動	日本の多文化化の問題解決に寄与する人材に関する研究を推進する。また、全国の実践者・研究者による協働実践研究の場として研究会等を実施する。さらに研究成果の発信として研究誌等を発行する。	
(1) 協働実践型研究	多文化社会における専門人材として、多文化社会コーディネーター、コミュニティ通訳、子ども・地域日本語教育指導者(コーディネーター)の専門性や養成カリキュラムについて実践的・学術的に研究を進める。また、社会的通用性を担保する仕組みとして「認定制度」の確立を目指す。	
多文化社会コーディネーター研究	コーディネーター研究をテーマとする者で研究会を開催し協働実践研究を推進する。今年度より専門職化に向けた仕組みづくりについて検討する。	通年
コミュニティ通訳研究	日本社会における問題状況から日本におけるコミュニティ通訳のあり方および専門性に関する研究を推進する。今年度より関東弁護士会連合会との協働で「司法における遠隔通訳」に関する実践研究を推進する。	通年
基礎研究	多文化社会人材養成に関する理解を促進するための教材に関する研究を行う。	通年
(2) 多文化社会実践研究・全国フォーラム(第7回)	本センターの協働実践型研究活動の成果を共有するとともに、多文化社会の課題に取り組む全国の実践者、研究者が一堂に会し意見交換する場を提供することによって、全国的なネットワークづくりを推進する。	11月30日(土)
(3) 研究成果の発信/研究誌「多言語多文化—実践と研究」の発行	研究者および実践者に、現代日本における多言語・多文化化の考察に貢献しうる研究の成果発表の場を提供する。年1回刊行。	2013年秋発行
3 社会連携活動	多言語・多文化に関する諸問題を解決できるよう、多様な団体・機関との連携、協働を図る	
(1) 多言語・多文化社会専門人材養成講座の開講	オープンアカデミーの「多言語・多文化社会専門人材養成講座」の企画運営を行う。「コミュニティ通訳コース」(全7日間)と「多文化社会コーディネーターコース」(8月～翌年2月の全7ヶ月間)の2コースを開講する。	8月～翌年2月
(2) コミュニティ通訳紹介制度	上記「コミュニティ通訳コース」修了者を「コミュニティ通訳」として登録し、弁護士会等からの依頼を受けて適宜紹介する。	随時
(3) 言語ボランティア活動の推進	社会連携事業室と連携して本学教職員、大学院生、OB・OGの言語ボランティア登録および活動を推進し、全国各地の外国人のための相談会等に通訳ボランティアもしくは運営スタッフとして参加する。また、必要に応じて自治体や国際交流協会等との連携により研修会等を開催するなど、多文化社会に向けて起こりつつある諸課題に共に取り組んでいくため、機関、団体とのネットワーク構築を推進する。	随時
(4) 後援	他団体が実施する多言語・多文化に関するシンポジウム、講演会、イベント等の後援を行う。	適宜
(5) ボランティア活動スペース(VOLAS)の運営	日本の多文化化の問題解決の一端として外国につながる子どもへの学習支援活動、ホスト社会側への働きかけとしての国際理解教育活動を中心に地域との連携のもと学生のボランティア活動推進の場としてVOLASの運営を行う。また、学生の自主的活動を促進するための研修・講座を開催し、学生の企画運営による学内および地域における主体的活動を支援する。	通年
(6) 在日外国人児童のための教材開発(タイ語)	これまでに開発した漢字教材および算数教材について、ポルトガル語、フィリピン語、スペイン語、ベトナム語に引き続き、タイ語の翻訳版の作成を行う。	通年
4 広報活動	本センターの活動を中心に、多言語・多文化関連情報を提供・発信する。	
メールマガジン	本センターのニュース、多言語・多文化関連情報をコンパクトに編集し、団体、個人の希望者に送信する。	月1～2回
ウェブサイト	本センターに関する基本情報および最新情報を発信する。	随時更新